

# 〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 194 (通算 508 回)

2011 年 10 月 14 日 (金)

## 21 世紀型大学への挑戦—不易・流行・深化— 学部改組再編のコンセプトと新・教学経営

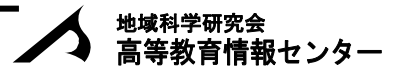
～学士力・キャリアデザイン力の育成/教育プログラムと教員組織の再構築～

- ※ 大学コンセプトの再構築/18 歳・卒業・親負担主義からの脱却/生涯学習・研究社会とは
- ※ 学生・教員組織の再編成と制度設計/学位プログラム化への対応/教育運営実施・支援体制
- ※ 21 世紀型市民・人間像/教養教育とカリキュラム・教育実践/学習成果向上への評価と F D

### ● 講師陣 ●

矢野 眞和 氏 / 桜美林大学 大学アドミニストレーション研究科 教授、元・日本高等教育学会会長  
 清水 一彦 氏 / 筑波大学 副学長 (教育)・理事  
 飯吉 弘子 氏 / 大阪市立大学 大学教育研究センター 准教授

2011 年 10 月 14 日 (金) 剛堂会館ビル 会議室 (東京・麹町)



日 時：2011 年 10 月 14 日 (金) 10:00～16:40  
 会 場：剛堂会館ビル (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)  
 千代田区紀尾井町 3-27 03-3234-7362

アクセス：東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より  
 徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」  
 麹町口より徒歩 10 分  
 ※会場の地図及び受講証を送付しますので  
 必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名 (資料代込) 41,000 円 (消費税込)  
 B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付) 42,000 円 (送料、消費税込)

※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ  
 FAX または E-mail にてご送付ください。  
 支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。  
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880  
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767  
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658  
 郵便振替 00110-8-81660

口座名 < (株) 地域科学研究会 >  
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に  
 代えさせていただきます。  
 申 込 先：地域科学研究会・高等教育情報センター  
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106  
 Tel：03(3234)1231 / Fax：03(3234)4993  
 E-mail：kkj@chiikikagaku-k.co.jp  
 URL：http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

☆ FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

### 研究会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 194

2011 年 月 日

学部改組再編のコンセプトと新・教学経営

当日参加  メディア参加  
 (□に✓印を入れてください)

勤務先 \_\_\_\_\_

所在地 〒 \_\_\_\_\_

連絡部課・担当者名 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法 (□郵便振替 □当日払い □銀行振込) 必要書類 [□請求書 □見積書]

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます

時間	講義項目
10:00 12:00	<p>□ 生涯研究社会における新大学のコンセプト                      ～18歳主義・卒業主義・親負担主義からの脱却～</p> <p style="text-align: right;">桜美林大学 矢野 真和</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本的家族・日本的雇用に埋め込まれた日本の大学</li> <li>2. 大学を良くする三つの方法—改革・政策・経営                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 戦後60年の「制度改革」の終わり</li> <li>(2) 改革にかわる「資源配分政策」の行き詰まり</li> <li>(3) 「マイクロ経営」の時代</li> <li>(4) ベンチャー・ランドとしての大学</li> </ol> </li> <li>3. 「生涯学習」と「生涯研究」のための教学経営                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生涯学習社会から生涯研究社会へ</li> <li>(2) 社会人の教育機会</li> <li>(3) 学士課程教育と専門教育</li> <li>(4) 生涯研究社会の学部・大学院プログラム</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
13:00 14:30	<p>□ 新たな学生・教員組織の再編成のコンセプトと制度設計                      ～教育プログラムの明確化・柔軟化への対応～</p> <p style="text-align: right;">筑波大学 清水 一彦</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新たな教育研究体制の構築                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 3つの基本的なコンセプト</li> <li>(2) 3つの基本方策</li> </ol> </li> <li>2. 教員組織の制度設計                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教員組織の基本機能</li> <li>(2) 教員の定員管理</li> <li>(3) 研究機能向上のための制度設計</li> </ol> </li> <li>3. 新教育研究体制の運営                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 運営体制の見直し</li> <li>(2) 教員人事の新方式</li> </ol> </li> <li>4. 学位プログラム化に向けた取組                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教育運営支援体制の見直し</li> <li>(2) 授業実施体制の見直し</li> <li>(3) 筑波スタンダードの策定</li> <li>(4) 学士力の明示</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
14:40 16:40	<p>□ 21世紀型教養教育とカリキュラム構想・教育実践                      ～社会を構築し生き抜ける市民・人間の育成とアウトカム向上に向けた教育実践評価～</p> <p style="text-align: right;">大阪市立大学 飯吉 弘子</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 21世紀社会を構築し生き抜ける市民・人間と大学教育の使命                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 21世紀社会認識とこれからの社会に求められる人間像</li> <li>(2) 大学の本質と大学教育の使命</li> <li>(3) 21世紀により重要となる教養・キャリアデザイン力</li> </ol> </li> <li>2. 21世紀型教養教育のためのカリキュラム構想と教育実践                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 21世紀型教養教育の方向性</li> <li>(2) カリキュラム構想</li> <li>(3) 教育実践の可能性</li> </ol> </li> <li>3. 学習成果向上のための教育実践評価と大学教員論・FD                         <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学習成果向上のための教育実践評価</li> <li>(2) 大学教員の教養と教育面も含む学識・専門職能</li> <li>(3) 日常的な教育改善・FD活動を基盤とした組織的FD</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>